

教科〔理科〕 第〔1〕学年	年間指導計画	
*到達目標	月	学習内容
<p>(1) 1分野の目標</p> <p>①光の実験により、反射、屈折するときの規則性を見つける。 ②凸レンズの物体と像の位置及び像の大きさの関係を見つける。 ③音についての実験を行い、音の性質を見つける。 ④実験により物体に働く力の性質ときまりを見つける。 ⑤圧力は力の大きさと面積に関係があることを見つけるとともに空気に重さがあることを調べる実験を行い、大気圧を知る。 ⑥物質固有の性質と共通の性質があることを見つけるとともに実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 ⑦物質の状態変化についての観察実験を行う。 ⑧気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付ける。 ⑨溶質が均一に分散していること及び水溶液から溶質を取り出す方法を実験観察から見つける。 ⑩酸、アルカリの性質と中和で塩が生成することを見つめる。</p> <p>(2) 2分野の目標</p> <p>①生物の観察を行い、生物の調べ方の基礎を修得する。 ②花の観察を行い、花の基本的なつくりの特徴を見つける。 ③植物の観察を行い、特徴を実験結果と関連付けてとらえる。 ④花や茎、根を観察し体のつくりの特徴に基づいて分類できることを見つけるとともに、植物の種類を知る方法を身に付ける。 ⑤野外観察を行い、観察記録を基に、地層のでき方を考察し、重なり方の規則性を見つるとともに、地層をつくる岩石とその中の化石を手がかりとして過去の環境と年代を推定する。 ⑥火山を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、成因と関連付けてとらえる。 ⑦地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解する。</p>	4 5 6 7 9 10	<p>自然の扉を開いてみよう ◎植物のくらしと なかま</p> <p>1章 なかまを ふやすしくみ 2章 栄養分を つくるしくみ 3章 水や養分を 運ぶしくみ</p> <p>4章 植物のなかまわけ</p> <p>◎身近で起こる 不思議な現象</p> <p>1章 光による 不思議な現象</p> <p>2章 音による 不思議な現象 3章 力による 不思議な現象</p>
<p>*評価の観点・方法</p> <p>①関心・意欲・態度…授業態度・提出物・小テスト等から評価します。 ②科学的思考………定期試験・提出物・小テスト等から評価します。 ③技能・表現………定期試験・提出物・小テスト等から評価します。 ④知識・理解………定期試験・小テスト等から評価します。</p>	11 12	<p>◎身のまわりの物質 1章 いろいろな物質と その性質 2章 いろいろな気体と その性質 3章 物質の状態の変化</p> <p>4章 水溶液の性質</p>
<p>*使用教材</p> <p>教科書 サイエンス1・2分野上(啓林館) 補助教材 理科学習ノート1・2分野(広学図書)</p>	1	
<p>*学習上の注意・助言</p> <p>(1) 意欲的に授業に取り組もう。 ①授業開始のチャイムが鳴る前には着席しよう。 ②先生や友だちの発言をしっかりと聞こう。 ③黒板の内容は学習ノートにしっかりと書こう。</p> <p>(2) 授業は理科室で行います。 ①理科室には使用方法を誤ると危険な実験器具や薬品がたくさんあります。先生の指示を守り、気をつけて使用しよう。 ②実験・観察では必ず先生の指示を守り、安全に行おう。</p> <p>(3) 実験や観察では、結果や気づきをできるだけ詳しく記入しよう。</p>	2 3	<p>◎活きている地球 1章 大地が火をふく</p> <p>2章 大地は語る</p> <p>3章 大地がゆれる</p> <p>4章 大地が変動する</p>
<p>*家庭学習の仕方</p> <p>(1) 学習ノートやプリントは定期的に提出します。 (2) 重要語句・公式をしっかりと理解しよう。 (3) 計算問題などは、単位に注意し、必ず式を書こう。 (4) テレビ等を利用して、理科に関係することを学習しよう。</p>		